



Palette通信

広島市南区社会福祉協議会 南区ボランティアセンター
〒734-8523 広島市南区皆実町一丁目4-46(南区地域福祉センター内)
TEL (082) 251-0525 FAX (082) 256-0990
E-mail minami@shakyohiroshima-city.or.jp



色とりどりの想いを重ねて 「Palette通信」祝100号

2001年5月に誕生した「Palette通信」。歩みを重ねて、ついに今号で100号を迎えることができました。

節目となる今回は、これまで支えてくださった皆様のお声に加え、現在活動中のボランティアグループからの寄稿もお届けします。



Palette通信100号発刊おめでとうございます。

「もう100号！？」ですが、お忙しい社協の方々が編集・校正をしてくださっているので、頭が下がる思いです。

南区ボランティア連絡会は、現在10グループが加入しています。年々、グループ数が少なくなっていくのは残念ですが、年6回の代表者会議、交流会、2回の研修会、各グループの講座などを開いて、スキルアップをはかっています。

秋のボランティアフェスティバルでは、ボランティア連絡会だけでなく、行政、各作業所、南区地域スポーツ振興担当、主任児童委員などたくさんの方が参加、協力してくださいます。本当にみなさまには感謝です。



ボランティア連絡会3代目代表
(現代表) 柳田 京子 氏

何のお役にもたてていない私ですが、おかげさまで10年代表をさせていただいております。これからも自分に鞭打って、働いて・働いて・働いてまいります。

こんな南区ボランティア連絡会ですが、たくさんの方に各グループの趣旨をご理解いただき、参加・協力してくださることを願っております。

Palette 通信 100 号の発行にあたり 歴代のボラ連代表からお声をいただきました。

「皆さんとの関わりが自分を育ててくれた。」
と語る初代連絡会代表の中土井さんに、当時の
様子を伺いました。



初代代表 中土井さん

地域福祉センター設立を機に連絡会が発足し、中土井さんは初代代表に。「ボランティア」という言葉が広まり始めた時代でした。皆さんに支えられ 3 年務め、交代しました。

当時は精神障害に対する偏見や差別が、現在よりもずっと厳しい状況でした。「精神障害とはどのような病気なのか知りたい」という思いから精神保健福祉ボランティア講座を受講。その後、精神障害のある人が人として扱われていない現状を目の当たりにし、「どうにかしたい!」と仲間とともに「とちの実」を立ち上げました。

現在も、人との交流や寄り添う姿勢を大切にしています。地域のグランドゴルフや体操教室に参加し、周囲の方に積極的に声を掛け、関わりを持つように心掛けています。

創刊時のボランティアコーディネーター 田森さんからも寄稿いただきました。

Palette 通信の Palette は南区ボランティアセンターの中心に置かれたテーブルをイメージしたものです。

パーツで丸く形づくられていますが、各パートが個性豊かなボランティアの皆さんで、ボランティア活動と言う目的を持って集まり、協力して取り組む姿ではないかと思い名づけました。

念願だった新しいボランティアセンターが誕生すると、集える拠点ができるで活動も多様化し年齢層も広がってテーブルを利用する事も増えていきました。特にボランティアフェスティバルの開催になると、テーブルの回りには人が溢れ、持ち寄ったアイデアを結集して日に日に準備がすすめられました。

たくさんの人を迎えてきたボランティアセンターがいつまでもボランティアの中心にあり、人と人をつないでいってほしいと思います。



田森さん



ボランティア活動の歩みと通信への思いを綴ってくださいました、二代目代表の対尾さんから寄稿いただきました。

Palette 通信 100 号おめでとうございます。

1991 年、ボランティアの研修会に参加した人が終了後「さくら会」を立ち上げ、介護保険のない時代色々なボランティアをしました。

10 年過ぎた頃 Palette 通信が、発刊され、他のグループの活動や、連絡会の行事、フェスティバルの様子を、楽しく読ませていただきました。写真も入ってとても読みやすく、自分達のグループが載っているうれしかなりました。

この通信が 20 年以上続いていることを喜ばしく思います。

これからもボランティアの皆さんに楽しんでもらえる様な Palette 通信を続けていただきたいと思います。

楽しみにしています。よろしく。



2 代目代表
対尾さん



創刊号!!
区社協に 1 部だけあります



登録ボランティアグループ紹介

— いま、「私たちの活動」

グループの紹介①

＜手話サークル かたつむり＞

かたつむりは毎週金曜夜、手話を学習しているグループです。かたつむりのように「のんびりゆっくり」がモットーです。

初心者でもすぐになじめるのは、長年指導してくださっている先生が熱血でユーモア抜群、温かい雰囲気を作ってくださるおかげだと感じています。

興味のある方はどうぞ気軽に見学にいらしてください。
お待ちしています!!



＜朗読サークル 野の花＞

私たちは、朗読で目の不自由な方へ広報誌「南区だより」や様々な情報身近な話題、小説などをテープ・CDに収録して届けています。

音訳の機器もラジカセ、カセットテープの時代からパソコンを操作してCDにとデジタル化へと進み、メンバーの大半がアナログ世代でしたので、様々な苦労がありました。それも今となってはなつかしい思い出のひとつです。

また、一昨年社協での朗読講習会の開講がメンバーの増員につながり、ますます活気のあるグループとなり、嬉しく思っています。



＜洋光台シルバークラブ＞

洋光台に団地が出来て約40年。

1993年に洋光台シルバークラブを立ち上げ、32年続行中。

毎月1回（第3水曜日）地域のお年寄りが憩える向洋新町会館でいきいきサロンを開催しています。大洲包括センターの人の話、ゲーム、頭の体操等。銭太鼓。民謡。手芸。歌。講演会。草花を生ける等。一緒に楽しんでいます。

その後、ボランティア手作りの弁当を食べます。

皆さん、笑顔いっぱい♪♪



＜点字サークル てんてん＞

点字サークル「てんてん」は、視覚に障がいのある方の、ご要望にお応えできるよう、設立以来40年近く活動しているグループです。

気軽に参加でき、正確な点訳、技術の向上をモットーに、和気あいあいとした雰囲気で活動しています。

私たちと一緒にやりませんか？

月2回（第1、4水曜日午後）定例会をしています。



＜朗読サークル だんだん＞

我々のグループは、視覚障害者の方を対象に音訳図書の作成及びその貸出しを行っています。毎月第1、第3の木曜日に定例会を行っています。

メンバー各自が自宅でパソコンを使って音訳図書を作成します。それを定例会で持ち寄りリスナーへ発送しています。朗読する読み物は、エッセイ、新聞のコラム、短編小説などです。

現在会員及びリスナーを募集しています。関心のある方は一度定例会を見学に来てください、いつでも歓迎します。

見学希望の方は、南区社協まで連絡ください。



＜精神保健福祉ボランティアグループ とちの実＞

精神障害の方のボランティアということで、難しいと思われるかもしれません。

2年に1度、養成講座を開いていただき、一緒に活動してくださる方を探しています。参加者はおられます、活動につながらず、苦戦しております。

とちの実のメンバーは「自分にできることができるだけ」をモットーに活動しており、みんな明るく、素敵なお方です。当事者の方々との関わりの中では、メンバーのほうが元気をいただいている。

一緒にボランティアに参加してみませんか。

グループの紹介②



〈こだま〉

「こだま」は2000年から5年続いた社協の、託老事業に参加していたボランティアが施設支援として、訪問して利用者さんと楽しい時間を過ごすという活動を始めました。



〈卯月（うづき）〉

卯月は2011年のウサギ年に発足しました。高齢者サロン、子ども支援等の活動をしています。折り紙、クリスマス飾り、干支飾りなどの下準備や講習です。

ボランティアフェスティバルでは、今年もつくろう会とあそびの広場を担当し、フェルトや折り紙を使って小物作りを楽しんでもらいました。

みんなボランティア歴が長くて、他のグループでも、活動しています。



〈個人ボランティアの集い〉

個人ボランティアの集いは、「なにかボランティア活動をしてみたい！」という思いを応援し、ボランティア活動につながっていくことを目的に、毎週金曜日10時から12時地域福祉センターで開催しています。

キッズ広場へプレゼントする飾りの作成などにも取り組んでいます。
お気軽にご参加ください。お待ちしています。

編集後記

お正月気分もひと段落し、日常が戻ってきました。今年の始まりを、どのように迎えられたでしょうか。

本号でPalette通信は、記念すべき第100号を迎えることができました。これまで記事を寄せてくださった方々、制作にご協力いただいた皆さまのお力添えに、心より感謝申し上げます。

これからも、皆さんにとって身近で親しみやすい広報誌を目指してまいります。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

〈つくろう会〉

「つくろう会」の名称で活動しています。

2005年から始まり、20年になります。

社協のボランティア研修室で、毎週、火曜日の13時から15時の約2時間集まり、手作りで、フェルトや布切れなどで、小物や玩具を作り、二葉園や育成会などへ、プレゼントをしています。

毎年、秋に開催される、ボランティアフェスティバルでは、あそびの広場のコーナーへ参加しています。

現在は、15名の会員で活動しています。



〈話し相手ボランティアグループうさぎの会〉

発足して14年目を迎えます。

コロナ禍で顔を合せる事の大切さを痛感し、傾聴の役割を強く認識する事となり、現在は毎月第2木曜日自由参加型おしゃべり会[うさぎサロン]開催、施設等で活動しています。

昔からのメンバーと新たに加わったフレッシュなメンバーと協力し、笑いの絶えない場でこれからも笑顔で皆さまの傍で、うさぎの耳を傾けていきます。



パレット通信に関するご意見・ご感想などは南区社会福祉協議会までお問い合わせください。

TEL (082) 251-0525 / FAX (082) 256-0990

E-mail minami@shakyohiroshima-city.or.jp